

ETロボコン2015 イノベーター部門審査規約 Ver1.00

ETロボコン2015
本部審査委員会



目次

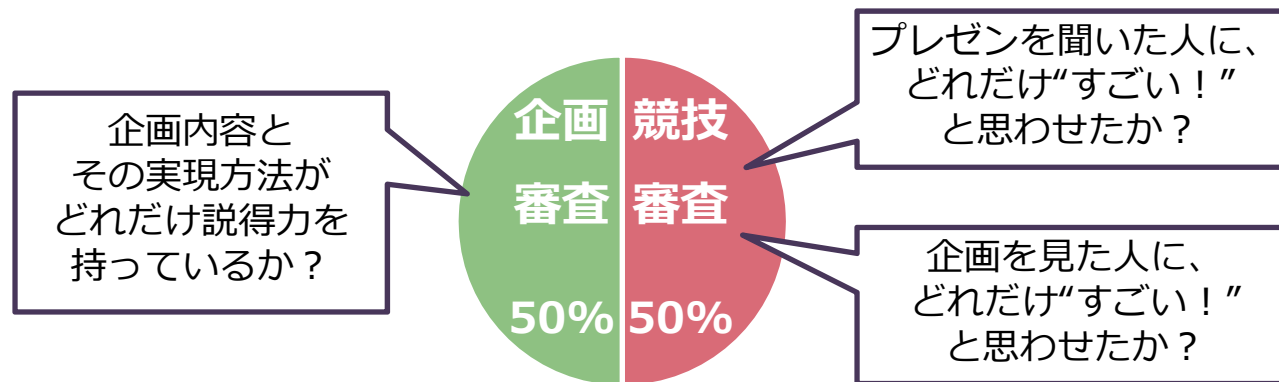


1. イノベーター部門の審査について
2. 審査方針
3. 審査内容
4. 企画書の記述

1. イノベーター部門の審査について



- イノベーター部門では、「企画書」と「競技」の2つについて審査を行います
 - 企画審査
 - 事前に提出された企画書に対して、モデル審査委員が評価を行います
 - 競技審査
 - 企画の内容について、会場の審査委員に対し企画内容のプレゼンを実施します
 - 当日の競技内容に対して、一般審査委員と特別審査委員が評価を行います
 - それぞれの審査の比率は、50%ずつになります（全体で100%）

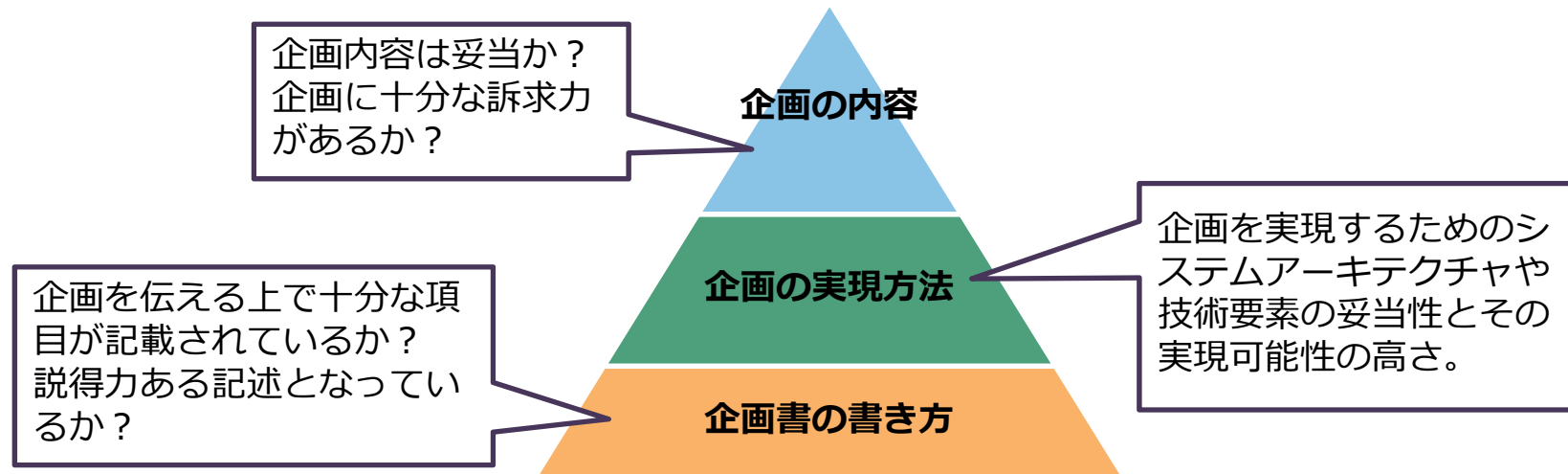


- 本審査規約では、「企画審査」に対する規約を記載しています

2. 審査方針



- イノベーター部門の目的である「製品・サービスを企画・開発するスキル」を競うために、製品企画の良さと、それを実現するための技術を評価します
 - 審査項目は「企画内容」「実現方法」「説明」の3つのカテゴリで構成されます
 - 「企画内容」と「実現方法」は同等の重みで評価されます
 - 「説明」の評価は、上記2つに比べると比率は低く、加点点評価扱いとなります



3. 審査内容



カテゴリ	内容	項目	審査基準
企画内容	企画自体の良さ	テーマ設定	企画の背景や目的が明確になっているか？ 背景には、現状の課題の提示あるいは新しい変化の提案があるか？ 目的には、背景にある課題の解決された状況、あるいは変化をもたらされた状況の説明があるか？ 背景や目的がテーマにきちんとつながっているか？
		コンセプト	テーマを実現するための企画内容（どんなガジェットを使って、どのようなパフォーマンスを行うのか）が明確か？ それらは、設定されたテーマに合致しているか？
		説得力	企画内容に対する作り手の意図・思い・根拠が伝わってくるか？ また、読み手に伝わりやすいような設定やシナリオが提示されているか？
実現方法	実現方法の良さ 実現可能性の高さ	アーキテクチャ	企画を実現するためのシステムやソフトウェアの実現可能性
		技術要素	企画を実現するために使われている各種技術の実現可能性
説明	企画書の分かり易さ	理解性	企画書は、背景・目的から実現方法まで、理解し易いように構成されているか？ 分量は適切か？ 図表は活用できているか？

4. 企画書の記述



■ 様式自由、分量自由

- 企画書では、内容とそれを端的に伝えるまとめ方の両方が重要になります
- 量が多かったり詳細であったりすることよりも、企画のポイントが容易に把握できるよう簡潔にまとめてください
- 大会会場での掲示はA3横5枚もしくはA4縦10枚のみに限定されます
- 企画書もしくはコンセプトシート内に、掲示するページと順序について記述してください

ETロボコン2015 イノベーター部門 審査規約

